

令和6年度

教科書調査研究報告書

中学校

美術

富士地区教科用図書採択連絡協議会

富士地区教科書研究委員会

I 調査研究対象教科書

発行者	書名	学年
9 開隆堂出版	美術	1～3年
38 光村図書出版	美術	1～3年
116 日本文教出版	美術	1～3年

II 調査研究の観点

1 内容

- (1) 造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞の活動に取り組めるよう配慮されているか。材料・用具などの基本的な扱いを理解し、表現方法を追求して創造的に表すことができるように配慮されているか。(知識及び技能の視点)
- (2) 生徒が自らの主題を生み出し、豊かに発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっているか。(思考力、判断力、表現力等の視点)
- (3) 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わり、生徒が美術の創造活動の喜びを味わいながら感性を育むことができる内容になっているか。(学びに向かう力、人間性等の視点)

2 組織・配列・分量

- (1) 題材が系統的・発展的に組織され、表現活動と鑑賞活動の関連や、他教科等との関連について配慮されているか。(資質・能力や題材の縦と横のつながりの視点)
- (2) 全体の分量及び各領域の内容の分量、配分は適切であるか。

3 生徒の発達の段階への配慮

- (1) 写真や図解等、生徒が興味・関心を持って意欲的に取り組めるように配慮されているか。生徒が目標や見通しを持ったり振り返ったりしながら、主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組めるように配慮されているか。(主体的な学びの視点)
- (2) 材料・用具の取扱いや、安全・事故防止に対して、生徒がわかるように適切な配慮がされているか。
- (3) 生徒の発達の特性や生徒一人一人の表現意図に応じて、材料や用具、表現方法等を選択できるように配慮されているか。(個別最適な学び、インクルーシブ教育の視点)

別紙様式 2

種目名	美術
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略称		
9	開隆堂 美術1 美術2・3	<p><内容></p> <p>(1) 美術1で図画工作から美術へのつながりについて紹介があり、美術ではどんなことを勉強するのか具体例が載っていた。また、美術2・3では卒業する生徒に向けた美術的視点からのメッセージが掲載されていて、中学校3年間だけでなく、生涯を通じて美術と共に生きる視点が特に強く感じられる。</p> <p>(2) 全体的に、生徒が興味を持ちそうな現代の作品（すずめの戸締まり、ジョジョ、ブルーロックなど）を、伝統的な作品と関連付けて取り上げているのは、大きな動機付けになる。また、「静岡県章」「静岡市プラモデル化計画の看板」など、静岡県内の資料や作品を突出して多く取り上げているので、富士地区の生徒が郷土の美術文化に目を向けやすくなる。1年の鑑賞では「風神雷神図屏風」が紹介され、中の作品は「樹花鳥獣図屏風」になっていて、日本の文化から静岡にある作品をつなげられる点において極めて有効である。（動画は「風神～」だけでなく屏風の作りや浮世絵など江戸の文化にも触れていた。）</p> <p>(3) 単元の導入に特化した解説動画がデジタルコンテンツとして用意され、二次元コードからワークシートもダウンロードできるので、専科ではない先生にも活用しやすく大変ありがたい。また、技法などを紹介する動画もあり、欠席した生徒が見たり、生徒が家で復習したりするときに、同じ動画を見られるのは非常に有効である。</p> <p>(4) おもちゃ作りのポイントなど、各単元で制作のヒントになりそうな資料が入っていて、作品だけでなく制作風景やアイデアスケッチなども一緒に掲載されているので、参考にしやすい。また、「美術の用語」で専門的な語句が説明されていたり、「注意事項」が示されたりして、生徒が理解するための細やかな配慮が見られる。</p> <p><組織、配列、分量></p> <p>(1) 1年では、「風神雷神図屏風」「樹花鳥獣図屏風」、2、3年では、印象派の作品や「カレーの市民」など海外の作品を大きく扱っているため、日本と海外の作品との比較ができる。また、美術史年表でも国内外の作品が紹介され、互いの影響についても学べる。</p> <p>(2) 一つの単元につき4ページ使われている。参考作品の鑑賞（鑑賞）、制作手順（発想・構想）、生徒の作品（知識・技能）と4ページの中に必要な情報がつまみついていて、授業の流れがわかりやすくまとめられている。また、生徒作品の作者の言葉はどのような思いを</p>

	<p>作品に込めたのかが分かり、制作の参考になる。</p> <p><児童の発達段階への配慮（表現）></p> <p>（１）全体的に背景を白とし、作品が際立つようにされている。見出しやポイントの表示では色覚の個人差を問わずどの生徒も見やすい色を採用している。識別しにくい色の組み合わせは避けているように感じた。</p> <p>（２）作品の写真サイズに変化がつけられていたり、作品の展示されている場所の背景も分かるように撮影されていたりして、中学生が興味や関心を持つような見せ方の工夫が表れている。</p> <p>（３）表紙の印刷に凹凸があり、教科書を触るたびに「美術科の教科書」という特別感と、内容への期待感が高まる。</p> <p>（４）制作のポイントや気づいてほしいところを、キャラクターが説明している。吹き出しの言葉は、授業の深化に大変有効である。</p> <p><総評></p> <p>（１）「樹花鳥獣図屏風」「静岡市プラモデル化計画の看板」など、静岡県内で見られる作品が多く、特に富士地区の生徒にとっては美術を身近に感じることができる。1年の鑑賞では「風神雷神図屏風」が取り上げられ、中の作品は「樹花鳥獣図屏風」になっていて、日本の文化から静岡にある作品をつなげることができる。</p> <p>（２）参考作品と同じくらい生徒作品が掲載されていて、作者のことばから何をテーマにしているのか、作品のポイントは何かなどがわかるので制作の参考にできる。また、現代作家の作品では、作者のことばが添えられ、プロの意見を聞けるのもいい。</p> <p>（３）表紙の凹凸や1ページ目を開いた時の岡本太郎から「どんなことを勉強するのだろう」とワクワクする気持ちと期待感がある。生徒の興味や関心を引き出すきっかけになる。</p>
--	--

別紙様式 2

種目名	美術
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果
略 称		(①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
38	光村図書 美術 1 美術 2・3	<p><内容></p> <p>(1) 表紙から谷川俊太郎さんの詩、美しさについて考え、身近な美しさを見つける問題提起につなげている。2, 3年でも同じ詩が最初と最後のページに載っていて、3年間のつながりを感じる。</p> <p>(2) 参考作品だけでなく生徒作品の制作過程が載っていて、どのように考えて作品を作ったか作者の思いが分かるようになっている。</p> <p>(3) 1年「火焰型土器」は実物大写真が掲載され、QR コンテンツでは360°の鑑賞ができる。また、「風神雷神」は立体作品と平面作品が比較できるように資料が示され、動画では三十三間堂の紹介も含めて解説されている。動画は音声のみを選択することも可能である。2, 3年の「日本絵画を楽しむ五つのキーワード」は、「四季」や「動物」などテーマごとに取り上げやすくなっていた。</p> <p>(4) 「デザインや工芸」の世界のページでは、目的や機能について具体的に書かれていて理解しやすい。2, 3年生の「デザインや工芸」では「暮らしの中のデザイン・工芸」として生活の中のどの部分に関連するのか分かりやすくまとめられている。</p> <p>(5) 資料にも二次元コードがついているので、用具の使い方について資料を見ながら確認することができる。</p> <p>(6) 表紙の作品を裏表紙で紹介するだけでなく関連作品のページも書かれているので、教科書の表紙を使った授業展開もできる。</p> <p><組織、配列、分量></p> <p>(1) 1単元につき、見開き2ページで構成されている。工夫点が紹介される場合は4ページが充てられていて見やすい。</p> <p>(2) 生徒作品がデジタルコンテンツで多数紹介されていて、それぞれテーマに沿いながらも作風は多岐にわたっているため、参考資料として満足感がある。</p> <p>(3) 2, 3年時では、「日本の絵画」が取り扱われている。3年間を通じて日本の作品を重視しているように思う。また、テーマ別に分かれているため、テーマに合った作品の紹介や調べ学習が行うことができる。</p> <p>(4) 技術的な資料が別冊になっているので、3年間を通じて必要などきに活用しやすい。紙の加工について資料が掲載されている。身近な素材の紙でも、加工の仕方が多岐に渡ることを視覚的に紹介するのは大変なため、この資料は有効である。</p>

	<p><児童の発達段階への配慮（表現）></p> <p>（１）１年生の教科書では、特に図画工作科からのつながりを意識した題材が設定されていて、同時に美術科への発展も見通した構成になっている。</p> <p>（２）１年生の内容として、他教科で見たことがあるものや身近なテーマを取り上げている。２，３年生になると、そこから発展した内容になっていた。例えば、パッケージデザインだと身近にどんな商品があるか？から自分だったらどのように作るかと広げている。</p> <p>（３）「響き合う形と色」や「漫画表現を楽しむ」などに取り上げられている参考作品が適切で、学習内容が中学生に理解しやすい。</p> <p><総評></p> <p>（１）日本の絵画を掲載するページでは、紙質にもこだわって美術文化を伝えようという教科書作りのこだわりが感じられた。</p> <p>（２）生徒が作品に込めた思いについて、過程をふまえて丁寧に載せていた。過程を知ることとはとても大切で、制作に対するきっかけや考え方を自分事として知ることができ、いいヒントになっていると思う。</p> <p>（３）体感ミュージアムでは、取り上げられた作品についての詳しい解説に加えて、二次元コードのコンテンツで作品へ補助線や吹き出しコメントをかき込んだり、360°写真で展示空間を鑑賞したりすることができ、より作品に対する理解を深められる。</p>
--	---

別紙様式 2

種目名	美術
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果
略 称		(①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
116	日本文教出版 美術1 美術2・3上 美術2・3下	<p><内容></p> <p>(1) 1年の最初に「3年間の学び」について見開きで紹介されているので、各学年での取り組みに見通しが持てる。また、アーティストの考え方や制作風景が載っていて、プロの仕事風景を見ることで興味関心が高まる工夫がされていた。</p> <p>(2) 屏風の写真を、実際に折り曲げて見比べられるようになっていいる。屏風は作品展でも伸ばした状態で展示されることが多いので、折り曲げることによる効果や見え方を体験する教材になる。</p> <p>(3) 2・3上へのみ年表が載っている。美術史のターニングポイントについてコメントがあり、世界的な流れや影響などを捉えやすい。</p> <p>(4) 「学びを支える資料」では、発想や構想の手立てを作家や生徒のパターンに分けて紹介し、制作過程を見せている。また、技能的な資料では、木材や粘土の種類や使い方まで資料集に負けないくらい詳しく書かれていた。</p> <p>(5) 写真が鮮明で、ハッチングの線や筆運び、油彩のマチエールや版画の繊細な色の変化まで感じ取ることができる。</p> <p><組織、配列、分量></p> <p>(1) 1年の内容に2, 3年の参考作品が載っている。作品を見た生徒が「来年度はこんな作品作るのかな」と上の学年の学習に期待を膨らめることができる。</p> <p>(2) 2, 3年の内容が上下に分かれていて、それぞれにテーマがあり、テーマに合った内容をまとめている。共通の目標や内容を多様な題材で扱うことにより、各校の実情に合わせた指導計画を立てやすくなり、学びの連続性も生まれやすくなる。</p> <p>(3) 巻末の資料でも多岐にわたる技法や表現などが紹介されている。特に人物を作る資料では、二次元コードを読み取ると実際にデッサン人形をタブレット上で動かすことができ、重心や動きを表す作品制作で有効活用できる。</p> <p>(4) 題材ごとに掲載する資料が厳選され、興味を持った生徒がさらに調べたい、と思える余地が残されているため、授業展開に広がりを持たせやすい。</p>

	<p><児童の発達段階への配慮（表現）></p> <p>（１）タイトルが大きく、配置がすっきりしていて、資料と資料の間も余白が取られているので見やすい。装飾が抑えられ、レイアウトに統一感があるので、内容を理解しやすい。</p> <p>（２）ユニバーサルフォントやカラーユニバーサルデザインが採用されているので、教科書を見る、読むこと自体の負担や困難さが軽減されるよう配慮されている。</p> <p>（３）動画コンテンツのナレーションが過剰にならず、間を取って解説が流れるので、生徒は思考を働かせながら見ることができる。</p> <p>（４）３冊がそれぞれに題材配列を考慮した構成になっていて、中学校３年間での成長過程や発展性を踏まえてつくられていると感じる。</p> <p>（５）中学生にもおなじみの芸能人によるメッセージは受け止めやすく、端的で凝縮された内容になっている。</p> <p><総評></p> <p>（１）発達段階に配慮し系統立てた内容を重視し、３冊の分冊として編集されている。また、「学びの目標」が示されることにより、見通しを持って主体的に作品に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>（２）ユニバーサルデザインに配慮したページ構成で、全ての生徒が等しく学べるように配慮されている。</p> <p>（３）二次元コードの内容が工夫されていて、多様な学び方をしていく生徒にとっても学習の手掛かりになる。</p>
--	---